

歌園迎賓館 出演者プロフィール

タケカワユキヒデ



◆タケカワユキヒデ

1952年10月22日埼玉生まれ。

音大教授の父を持ち、5歳からバイオリン、10歳から作曲を始める。

1975年、東京外国語大学在学中に全曲英語詞のアルバム「走り去るロマン」でソロアーティストとしてデビュー。翌76年にゴダイゴ結成。ボーカルと作曲を担当し「ガンダーラ」「モンキーマジック」「銀河鉄道999」「ビューティフルネーム」など、数多くのヒット曲を生む。

80年代以降もヒットメーカーとして、アーティストへの楽曲提供や、映画音楽にCMソング・主題歌等を数多く手掛ける。

現在は音楽活動の他、エッセイなどの執筆活動、テレビ・ラジオ番組への出演や講演・コンサート活動と幅広く活躍中。2006年には結成30周年を機にゴダイゴも恒久的再始動を宣言する。

詳しくはオフィシャルHP <https://www.takekawayukihide.com/>

太田裕美



◆太田 裕美 Hiromi Ohta

1974年「雨だれ」でデビュー以後「木綿のハンカチーフ」、「赤いハイヒール」、「九月の雨」、「さらばシベリア鉄道」、「君と歩いた青春」など数えきれない名曲を歌い、フォークと歌謡曲のジャンルを超えた新しいシンガーとして、現在のJ-POP女性VOCALISTの道を開いた。

2017年4月、TV番組「名盤ドキュメント」の放送をきっかけに、1975年発売のアルバム「心が風邪をひいた日」が再び注目を浴び、ネットチャートをにぎわす。その後アナログ盤の復刻発売にまで至る。さらにこの年、NHK連続テレビ小説「ひよっこ」の劇中歌「恋のうた」を歌い、話題となる。2019年、5月、デビュー45周年記念のフィンチアナログ盤「ステキのキセキ」、「桜月夜」をリリース。11月、記念アルバム「ヒロミ☆デラックス」発売。

さらにこの年、東京国際フォーラム・ホールCにて記念コンサートを開催。

近年は毎年、東京・京都にてソロコンサートを開催している。

庄野真代



◆庄野 真代 Mayo Shono

大阪出身。1976年フォーク音楽祭をきっかけに、日本コロムビアからデビュー。

1978年「飛んでイスタンブール」「モンテカルロで乾杯」などが大ヒット。ニューミュージックを代表するシンガーとして活躍。作曲、執筆、舞台演劇など多方面での活動も多い。

近年はジャズ、ラテン、タンゴなどの音楽家との共演を行っている。

2020年にはポップミュージックへの原点回帰をはたす最新アルバム「66」を発表。また2021年にデビュー45周年をむかえ、12枚組の記念CDBOXをリリースした。今も褪せぬ軽やかな歌声と音楽性で日本のAORとして評価がふたたび高まっている。

庄野真代ホームページ shonomayo.com

◆N響団友オーケストラ

NHK交響楽団団友により1982年に組織され運営されているのがN響団友オーケストラです。結成以来数多くの演奏活動を全国的に行っています。青少年の音楽教育のための演奏をはじめ、一般のコンサート・オペラ・バレエ・ボランティア演奏等に、小編成アンサンブルから大編成のフルオーケストラまで、広範囲のプログラムで好評を博しています。出演メンバーは団友、N響現役メンバーを中心とし、他の優秀なプレイヤーによって編成されています。N響団友とは、NHK交響楽団に永年在籍して定年退職した者、10年以上コンサートマスターとして在籍した者、及び特に功績を認められた者が、N響から団友という名称で処遇されています。一般のオーケストラと違い、レパートリーも多く、どんな楽曲でも安心して聴けるアレンジの確かさと、テクニックの持ち主です。



宝くじの収益金は…

学校、図書館等の教育施設の整備をはじめ、公園、社会福祉施設等の建設改修など、皆様の日常生活に役立つように使われています。

このイベントは、宝くじの社会貢献広報事業の一環として実施しています。

一般財団法人 自治総合センター